

平成25年12月11日(水)

八ヶ岳南麓里山再生・農業支援友の会

会員の皆様へ

《農場便り》

「この一年とこれからの五年」

大泉での農の暮らしも丸5年目を経過しました。まずは会員の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。元気と言いたい所ですが、先月から従来、経験したことの無い右膝と腰の痛みが出てきました。前期高齢者の仲間入りの証かと無理が利かなくなつた肉体を恨めしく思うこの頃です。トラクターなど一通りの農機は揃いましたが所詮、農業は身体が資本です。無理は禁物、確実に老いている身体を労わりながらという領域に入ってきました。それでも「基盤づくり」と位置づけていたこの5年間は順調であつたと総括できます。無農薬・無肥料での自然栽培も山梨県農政部のご支援も頂き、取り組む仲間も徐々に増え、会員の稲作、畑作、果樹の栽培技術も向上してきています。個人的には「アグリマスター」に認定され自然栽培を学ぶことを希望する研修生も受け入れることが可能となりました。来春には研修希望者もあり楽しみです。新たに農場の近くに新規就農家族が2家族移住して来ました。徐々にですが若い仲間が増えています。また文京区の丸山町会との交流も活発になりました。中でも丸山町生まれの息子達のような30代の若者達との交流が始まり、農を介しての都会人と田舎人の今後の活動が楽しみです。その若者の支援でホームページを立ち上げることが出来ました。八ヶ岳南麓ファームで検索して頂ければ幸いです。栽培面では稲作は技術も向上して順調でしたが畑作面では苗は上手に育苗したにも拘らず定植遅れでほとんどの野菜が成育不良でかぼちゃ・スイカ・玉ねぎ・キュウリ・ピーマンなど全滅に近い状態でした。会員の皆様にもご迷惑をお掛けしました。原因は定植時期と人手不足です。稲作と重なる5、6月の作業計画の改善したいと考えています。鬼が笑うでしょうが来年からの5年は「農ある暮らしの確立期」として位置づけ、若い親子4～5名の家族が暮らしを立てられる農の確立を目標に取り組んでいきたいと考えています。5年後は70歳、更に鬼が大笑いするでしょうがその後の5年は．．．．．あと10年、75歳までは元気に農業したいですね。これからも宜しくお願い申し上げます。この一年に感謝し、会員の皆様と共に良い年をお迎えしたいと願っております。

・農場の庭、ウメモドキ(12/7)



・甲斐駒ヶ岳 夕焼けと宵の明星(12/9)



メール yamaki.yoshio@peach.plala.or.jp

携帯080-3080-3017